

第2回 学校運営協議会 記録

日 時 令和6年10月2日(水) 午後0時45分～2時45分

場 所 浜松湖北高等学校佐久間分校応接室

出席者 委員(敬称略) 佐藤悟、遠藤睦子、坪井俊介、大見拳也
学校 新井淳一校長、佐藤敦副校長、長谷川竜一教頭

【開会】

1 中高交流会見学

2 議事 会議成立 委員4人全員出席

ア 佐久間分校の近況報告

〔事務局説明〕佐久間分校の近況について

《委員質問・意見》

- ・静岡文化芸術大学生と連携して作成しようとしているカレンダーに、佐久間分校マスコットキャラクターを掲載してもらうことは可能か。

(事務局) 企画をしている大学生から、「可能」という回答をいただいている。

- ・カレンダーに分校の学校行事を掲載してもらうと良いのではないか。

(事務局) 企画をしている大学生に、可能かどうか確認をする。

- ・佐久間分校マスコットキャラクターの着ぐるみを作って部活動の応援の場などで活用してもらいたい。

(事務局) まずは、2次元での活用を進める。着ぐるみについては、多額の費用を要するもので、すぐに作成できる状況にはないが、できれば作成したいと考えており、検討を続けていく。

- ・自分と関りのある事業所等に、佐久間分校の情報を提供している。佐久間分校のことがいろいろな方に伝わり、生徒増につながると良いと考えている。
- ・地元以外の生徒が佐久間の環境で生活できるのはとても良い。交流会で生徒の様子も見た。本当によく学校は生徒を見てくれている。
- ・自治会の敬老会で、佐久間分校魅力化委員会会長が生徒募集の案内をしてくれた。
- ・通学手段がないため、地元以外からの通学がなかなか難しい。北遠地域の生徒は寮に入るしかないというところが課題。バス等、公共交通機関が利用できると良い。
- ・北遠地域の生徒を対象に生徒を募るのであれば、交通機関の充実は必須と思う。
- ・交通機関ができて時間もかかる。開始時刻に合わせれば、西鹿島駅を6時半頃に出なければならない。

イ R6年度 地域総合類型 3年生「地域実践」の取組

〔事務局説明〕3年生「地域実践」の取組について

《委員質問・意見》

- ・アレンジした地元のお菓子やトレーディングカードの配布提供場所は、フェスタ佐久間以外であれば、天竜産業観光まつり、ダムまつり、みさくぼ夢街道、はるの産業まつりなども検討すると良い。

- ・より多くの人に手にしてもらえらる機会をつくるために、クラウドファンディングを活用する方法がある。「佐久間分校のことを知ってもらいたい」といった目的で実施し、作成したお菓子やトレーディングカードを返礼品とすれば良いのではないかな。
- ・集めたお金でマスコットキャラクターの着ぐるみを作るということを示してクラウドファンディングを行うことも可能ではないかな。
- ・クラウドファンディングを行うことは、生徒にとって良い勉強になる。
(事務局) お菓子については、地元の団体に御協力いただき、団体が行うお菓子の製造・販売に生徒が関わらせていただいているものであるため、団体の意向を踏まえることが必要である。トレーディングカードについては、佐久間分校としてある程度の量を準備することはできる。実施できれば、生徒にとって良い勉強になると思う。
- ・トレーディングカードを駅で配布すると、鉄道好きの人が興味を持つのではないかな。
- ・トレーディングカードの配布場所の一覧表を作ると良い。
- ・トレーディングカードを公的な施設に置いてもらおうと良いのではないかな。

【閉会】